夕刊
いわき民報

発行所
平市田町 電381 1222
いわき民報社
編集兼発行人印刷 田原登

貧者の一燈（一升）

留守家族の好意に 關内候補者も感激

戰線美談

平市二丁目の関内正一候補の事務所へ、福島県留守家族連合会長鈴木質さん（福島市杉妻町）から『貧者の一燈です』と次のような手紙を添え慰労の清酒一升が届けられた、鈴木連合会長さんは頼る息子さんが二人とも未だに帰らず、奥さんは病床にあるお気の毒な家庭であるが、昨年留守家族に対する厚生援護の法案通過に当つて、関内代議士が委員会で献身的な努力を払つてやつたことの恩義を感じ、本県留守家族一同を代表して陣中見舞いをして来たもの…このお気の毒な人々の誠心こめた贈り物に関内候補も心から感激している

（前略）実は留守家族県連が常にお世話になつている関内先生が、陣頭に馬を進め奮戦中のこと、推察、早速馳せ参じて多少なりお手伝いを致さねばならぬところでありますが、病妻を抱いて思うにまかせず誠に申訳御座いません、昨年吾等留守家族のための厚生援護法案については格別の御尽力を賜わり県内の留守家族一同身にしみて恩義を感じて居ります、どうぞ三度御当選の上吾等不幸な留守家族のため御援助賜わるよう御当選を切にお祈り致します、気は心と云いますが、全くの貧者の一燈です。佐藤巌さん（市内南町留守家族平会長）に清酒一升を託しました、御感謝の印です、御受納願います

右について平会長の佐藤巌さんも次のように語った

私達の厚生援護法案では随分関内先生のお世話になりました、全国十七ケ留守家族が感謝して居ります、会員一同鈴木連合会長と心は一ツです、必ず関内先生が当選するよう念願して居ります（写真は関内候補）

關内を落すな！

聽衆も激して飛入り辯士

関内候補の個人演説会は二十七日夜市内南町三浦ミシンの洋裁学校二階教室で開かれたが、同教室にあふれる満員の盛況ぶり、戦いもいよいよたけなわになり『関内危うし』の声に市民もジツとして居られなく成つてか、大町の畳屋岡田健吉さんを初め、南町区長の佐藤巌さん、同酒井保医師など飛び入り弁士に成つてそれぞれ『関内候補を落すな…』と合言葉のように呼びかけ、熱意を示すなどうるわしい場面もあつて盛況を極め、最後に関内候補が遠い山田村の立会演説会場から自動車を飛ばして駈けつけ

最近街の噂を聞くと〝関内と高木は五分五分の勢力〟だと云われている、私は心外に堪えない 私は平市に居を置き平市に骨を埋めるつもりである、二十八才の若干で町会議員と成つて以来町会二期、市会二期、県会議員二期と歴任し半生を政治に身を投じて来た、将来も又一生を政治に捧げるつもりである、苟くも町会議員以来三十年の政治生活で平市今回の発展の基礎を作ることにこん身の努力を払つて来たつもりである、然るに仕事をしないとか実行力がないというヒボウに、賢明な市民が迷わされることがあるとすれば誠に遺憾である、すべては自分の不徳と致すところであろうが、自分としては、他の町村の何処で敗れても、平市だけは市民絶対多数の支持を受けて当選したいと念願している、私の政治生命は市民の支持如何にかゝつていることを御諒察の上、格別の御支援を賜わりたいと聴衆に訴え、大きい感銘を与えた

立派な人を選ぶのが 公明選擧の目的

野澤むさし

今回の総選挙で『公明選挙』という選挙粛正運動が全国的に行われている。講和が発効し、日本が七年目で独立した意義ある最初の総選挙に、何故このような粛正運動を行わねばならぬか？謂うまでもなく、今度の選挙は、色々な意味で日本の新しい歴史を創る元を為すものであつて若しそれを一歩誤ると世界の信を失うばかりでなく、新日本の再建を逆に打ち壊わすことになる。従つてこの選挙が、正しく、恥無きものにするかどうかに、日本の再建の鍵がかゝつているといつても過言であるまい。

巷間伝えられるところに依ると今回の総選挙は二当一落と云われている。この二の数字の下に丸が七つもつく、即ち二千万円で当選し、一千万円では落選するというのである。第三区の候補者には、このような金権候補は絶対に無いと確信するが、買収供応など悪質違反に依つて意義ある総選挙を汚すものがあるとすれば断呼として排撃せねばならぬ。

但し、公明選挙とは、前記のように、選挙を汚す悪質違反を出さぬようにすることは勿論で各々充分監視する必要あるが、単に違反防止だけが目的でない明日の日本を託するに足りる立派な代議士を選ぶことが主なる目的である。それならどのようにして、正しい、立派な代議士を選出するか？解散直前湯本公民館で行われた婦人会の席上市川房江女史は、公明選挙について非常によいことを云われた

公明選挙を行うには、その区域の立候補者を全部書き並べ先ず次代を託するに足る政党を選ぶ、次ぎに選んだ政党のうちから何人が立派な人物であるかを充分検討するものである。

戦後の再建は政局の安定にあること論を俟たず、今日のように小党が分立している状態では、自由党以外に絶対多数を獲得出来る政党はない。改進党や左右社会党も立候補の数から見て全員当選しても単独で首班を占めることは不可能であるから、政局を安定せしむる政党は自由党以外に無いようである。市川房江女史の説を借問すると、それなら、自由党候補のうちから誰を選ぶかという結論に達する。

人の選び方には色々あるだろうが、宣伝やハツタリ政治家は勿論排撃せねばならない。前代議士については国会でどのような活動をしたか、国会を留守にして選挙地盤にのみこびりつき他人が努力した仕事まで俺がやつたと実行力を看板にするもの私行上の問題であつても、至るところに女性とのスキヤンダルを撒きちらしているような議員は御免蒙るべきである。このようにして自由党四人の候補者をふるいにかけると『誠実にして高潔、国会の会期中は東京に止つて国民の代表たるに恥無き行動をとつている立派な人格者』が自ら浮んで来る。正しきに一本で進んでいる立派な候補者‼これを選ぶことが公明選挙である。迷わず、おくせず、ヒボウやデマを粉砕すべきである。

× ×

藤森商会
平市鍛冶町 電二九六、四七一
書庫と金庫

鐵道電化の權威者

瀬谷氏應援に來平

関内候補危うしの声に鉄道電化問題のオーソリテイ瀬谷美光氏（東京都渋谷居住磐中十八回卒）は廿八日午前十一時四十分着列車で来平、今廿八日夜禰宜町の熱心湯、平和通りマルサで開く個人演説会に応援弁士として立つことになつた瀬谷氏は元名古屋鉄道教習所長を経て勅任技師となり東北帝大講師であつた人で現在鉄道技術協会常任理事であり、常磐線の電化問題に特に関心と研究を続けている人である

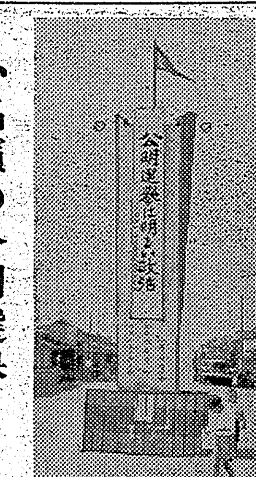
關内候補 今晩の演説會

▼二十八日夜七時 マルサ食堂 二丁目平和通り

▼同 熱心湯 禰宜町

小名濱の公明選擧

タスキ掛で街頭進出



サンマの盛漁期に入つたゝめ小名浜町の棄権率は相当多くなるだろうと危ぶまれているが、このため同町の公明選挙運動推進委員会（委員長太田武彦氏）では棄権防止と公明選挙の呼掛けに大童、先ず駅前の広告塔を塗替して『公明選挙』と大書し港まつり、県体に次いで三度目のお役に立てたのを始め委員たちはタスキ掛けでコマンドカーで出動、魚市場などに出掛けて棄権防止の運動に当つているが町教育委員選挙と結びついてハマの衆院議員選挙はようやく白熱化して来た（写真は駅前の広告塔）

八名立候補

小名濱教委選

小名浜町教育委員選挙は二十七日午後次の通り立候補届出者があつた、これで定員四名に対し八名となつた

峰松宏多（四四）小名浜町字高山三四日本水素化学技師

三名が出馬

勿來の教委選

植田、錦両町の町教委立候補者は大体勢揃いを見たが、勿来町は二十七日までに名乗りを上げたのは農業宵天目常吉（六二）味噌醸造業安島峰二（四三）旅館業赤津誠一（三九）の三氏で案外低調、卅日までには定員を突破する模様、上遠野村では二十七日までに届出を終つた顔触れは前村会議員山崎力技（六三）小学校PTA副会長赤津伝六（五二）元村会議員久野二郎（六〇）中学校PTA会長蛭田直重（五九）現農業委員会長生田目左一（五二）小学校PTA会長現民生委員鈴木仁郎（六〇）の六氏、田人村は品川黒田炭鉱所長山下星三郎（四二）氏唯一名三十日までに勢揃いし何ずれも熱戦が展開されることであろう

病害虫により 一万石減收

稲作被害調査

石城地方事務所では二十七年度郡下の稲收獲の査定を行つた結果、生産予想高は十七万九千七百四十二石（植付け面積八万二千九百六十九反）一段当り收獲は二石一斗六升七合と見込まれた、本年度は目標生産に対し病虫害により一万二千三百二十一石の減收の見込みである、病虫害被害はいもち病、胡麻葉枯病など三千四百二十八石、つと虫三千九百八十八石、水害三百二十八石、煙害二百五十一石、塩潮害三百三十八石、その他九百六十三石など合計九千二百九十六石である

天氣予報

二十八日

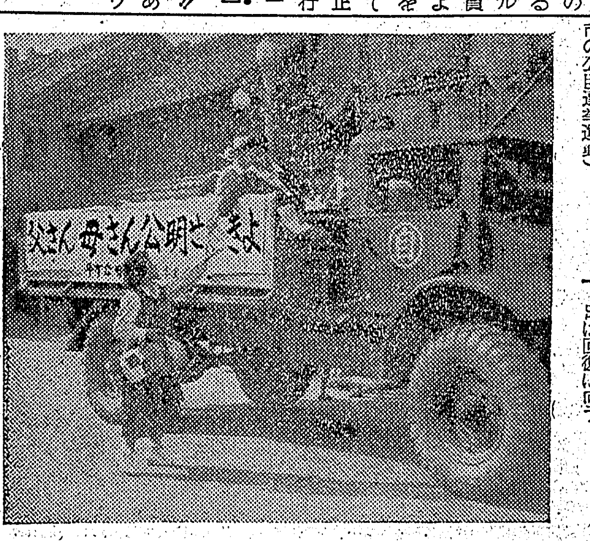
【今晩】北東の風晴れたり曇つたりの天気

【明日】北東のち南東の風朝のうち晴れたり曇つたりの天気で、次第に下り坂となり時々小雨、海上今晩は沿岸は穏かですが沖合は多少波立つ、明日は北東のち南の風次第にしけ気味、明後日は回復に向う

チラシ配布

平の公明選擧

平市公明選挙推進委員会では二十七日から市内に宣伝車を繰り出し常任委員たちが車上からチラシを配布、三日後に迫つた総選挙の公明化に懸命になつている（写真は市の公明選挙運動）



SINGER SEWING MACHINES
待望
世界に誇る
家庭用 職業用
シンガーミシン
最新型新輸入發賣開始
（部分品豊富取揃）
シンガーソーイングCO.
福島縣指定販賣店
平・二・電1232
副ミシン商会

産婦人科 放射線科
久保田産婦人科医院
看護婦募集
院長 久保田真
副院長 久保田真一
助産婦 久保田イネ
小名浜町横町電二三

電1382
イ美容室
平市銀座通

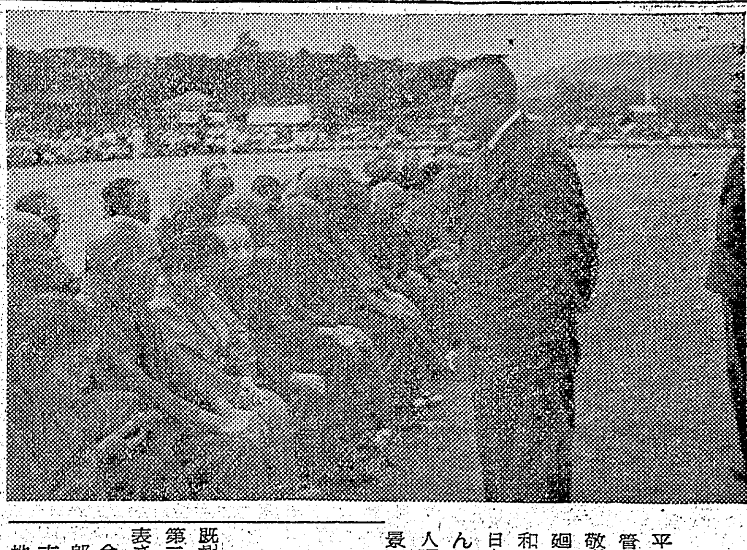
開店披露
28日より
喰道楽
江戸前 立喰天ぷら
天ぷら定食 一八〇圓
天丼 一〇〇圓
天金
平市田町三田小路 電九五〇
（大丸デパート横通）

産婦人科
中田医院
平市材木町聚楽館前
電話一〇九七番

秋月院 葬送の際は御多用中の処遠路態々御会葬下さいまして有難うございました 早速参上いたし御礼申上ぐべきですが略儀ながら紙上にて御礼申上げます

昭和二十七年九月二十八日

平市鎌田町五三
喪主 渡邊明子
親戚代表 水竹研之助
友人代表 宇佐見吾市



敬老會開く

平二小で

平第二小では廿八日運動会を開き管内二百七十名の老人を招待して敬老会を催した、子供たちの跳び廻る姿をながめ童心に返つて秋の和やかな場を浴びながら楽しい一日を送つたが、この日諸橋市長さんは尊敬する年よりたちを一人一人廻つて挨拶した（写真はその風景）

國体旗リレー 選手決る

第二次の人選

既報＝第七回国体旗リレー選手の第二次人選は二十七日次の通り発表された

金古政通（市会議長）野崎喜八郎（市会議員）強口唯七郎（同）志賀伝吉（同）箱崎利勝（石城地方事務所長）勅使河原美則（平営林署長）木本勝（平税務署長）勝呂幸雄（平郵便局長）佐藤勝海（平一小校長）湯山啓一（同二小）新妻芳美（同三小）古市己恵（同四小）佐藤豊（同六小）鈴木光四郎（同一中）蠣井浩（同二中）菱沼儀（同三中）大野三郎（平工業高校長）水竹伊之助（野球部長）金子源三（陸上競技部長）村上辺平（同）鈴木武雄（体操）阿部文平（柔道）根本武雄（庭球）信沢要（卓球）田子泰作（同）田中英男（ラグビー）佐藤武人（スポーツ連盟）石坂一雄（同）

火の用心戸毎人毎職場毎

火防宣傳標語 入選者決る

平市火防組連で募集した火防宣伝標語の審査会は二十七日平消防署で開き総応募五百四十二句のうちから左の通り入選を決定した

▼一等『火の用心戸毎人毎職場毎』平市七丁目草野恒夫▼二等『火事は平和の赤信号』平二小五ノ三岩田全弘『戸毎に防火伸びゆく郷土』平市谷川瀬松崎くみ子▼三等平市谷川瀬松崎ふみ子、平二小三ノ六二瓶英世、平二小三ノ二大内邦子、平二中二ノ四太田富雄、平四小四吉市孝雄▼佳作平市七丁目草野丈夫、同上荒川大森孟雄、同八幡小路菅野庄太郎、同谷川瀬松崎、み子、平三小六ノ四大和田力之内郷町綴斎藤武雄、平市鎌田町舘岡幸明、平市署杉森勘治、平二中三ノ四松崎あさ子平二中三ノ六佐藤智信

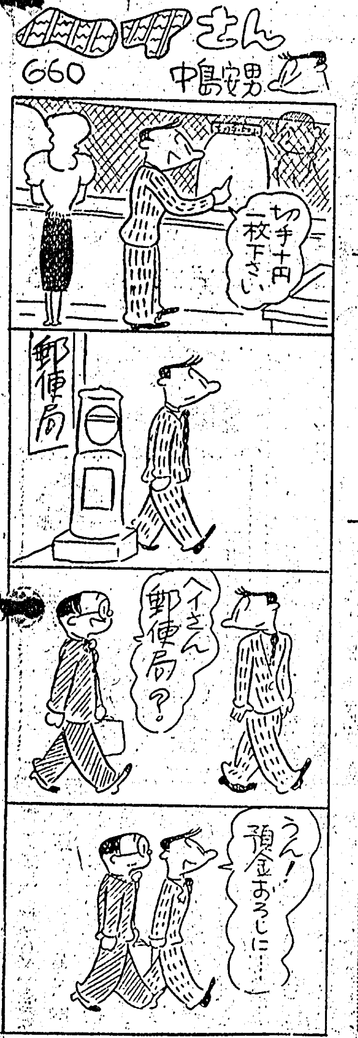
なお一等から三等までの標語を中小学生に各学校で書かせ宣伝する

健保庭球始る

第二回健康保険組合軟式庭球県大会は二十八日午前九時半から秋晴れの平市松ガ岡公園市営コートで県下の精鋭が集まつて行なわれた成績は次の通り

【男子】▼二回戦の勝組、宮川中島（呉羽）志賀益子（常磐）物江吉田（日東）平槻関口（呉羽）友部榊原（常磐）加藤斎藤（日東郡山）渡辺北条（呉羽）佐々木井上（常磐）▼準々決勝、宮川中島（呉羽）4―0志賀益子（常磐）友部榊原（常磐）4―0加藤斎藤（日東郡山）

【女子】▼準々決勝、高橋駒池（日東郡山）4―0高橋大内（日東福島）渡辺勝田（日東富久山）4―3工藤手塚（片倉伊達）田中村上（片倉伊達）4―3鈴木佐藤（日東郡山第二）金子稲本（日東富久山）4―1佐藤若綴（日東郡山第二）


さん
660
中島安男
切手十円一枚下さい
郵便局
ヘイさん郵便局？
うん！預金おろしに……

土地改良區設立準備會

二日小名濱

小名浜町では土地改良区設立準備打合会を十月二日午前九時より公民館に農協組理事、農業委員を集めて開き、こんどの灌漑、排水、農道の新設、管理又は変更、農地の交換、分合、区画、整理等の事業に伴う土地改良区の設置について協議する

錦小でピアノ

錦小学校PTAでは四十二万円を投じ優秀なピアノ一台を購入することにこのほど役員会で決定し目下寄附募集に大童

ラグビー豫選終る

全国高校ラグビー大会浜通り地区予選は二十八日午前十一時から磐高グランドに開催、磐高対小名浜高は十九対三で磐高が快勝、双葉高対小名浜水産の試合は双葉高が棄権のため小名浜水産が不戦勝となつた、なお二十七日実施するワケだつた内郷高対湯本高の試合は湯本高が棄権したゝめ内郷高が不戦勝

このため十月十一、十二の両日若松市で開催する県予選には磐高、内郷高、小名浜水産の三校が浜通り代表で出場する

植田の体育大會

植田町の第二回町民体育大会は二十八日午前八時から小学校グランドで盛大に催され中でお嫁探し、婿探し、各町内のリレーケース等が人気を呼び午後一時過ぎ盛況裡に幕を閉じた

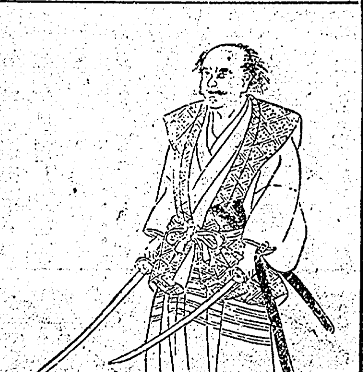
25名が軽微傷

泉村でバス横轉

二十八日午前九時十分ごろ泉―下小川間県道を常磐交通バス＝運転手小名浜町松の中四三嵐長久さん(三七)＝が中学校運動会のため定員二十五名に対し約三十八名を乗せて下小川から泉に向う途中泉村滝尻地内新国道との交叉点にさしかゝつた際、国道工事で地盤がゆるんでいたゝめ右側に横転し泉村下小川字鍛冶町無職三瓶ヨシさん(三〇)ほか二十四名が各れも全治三日から二十日間位の裂傷と打撲傷を負い、同村字泉明雲堂医院ほか二カ所に収容された、女子供が多かつたので一時大騒ぎを演じた

宮本武蔵自像

昨報剣と題し古泉延隆氏の一文中宮本武蔵が自ら書いた変化自在の図はこれである



樂しい運動會

隣保館で擧行

平隣保館では二十八日午前九時から平工高グランドで楽しい運動会を開いた―秋晴れの好いお天気で子供達は大喜びにお父さんやお母さん、お姉さんらと朝早くから〃早く始めないかなあ―〃と待つていた、やがて運動会が始まると良い子達は競技にダンスに真剣な顔で一生懸命だつた（写真は良い子の魚釣り遊び競技）

上遠野小運動會

上遠野小学校では十月五日秋季運動会を開く

結婚式の簡素化

世論調査

小名浜町公民館厚生部では結婚式簡素化についての世論調査を二十七日から十月五日まで婦人会の協力を得て町内の男子（二十才―三十才まで）女子（二十才―三十才まで）親（男女とも四十五才―五十五才まで）五百名を選んで行う生活改善の一環として〃公民館結婚式〃を奨励する参考資料とするもの、なお主なる調査内容は次の通り

▼挙式の方法▼披露会の場所▼招待者の範囲▼披露宴の料理の種類及び程度▼嫁入道具の程度▼記念品の贈呈

部落公民館三十六に

県下で随一

内郷町

内郷町公民館の分館宮部落館ではこのほど部落館活動の充実を図るため三分した、宮代、金坂、蛭子の三部落館で宮代部落館主任は草野啓助氏、金坂は大滝九之助氏と決定した、なお綴地内に第六部落館（主任田中宇一郎氏）が新設されたのでこれで同町は三十六の部落館となつたわけで今年度中には五十位に激増するのではないかとみられており県内随一で今後の分館活動が期待されている

JOHQ JOHZ

（29日）

前七・一五 街で拾った話 愛島美津雄

前一〇・一五 学校放送小学校二部交通『昔はどうしていたでしょう』

後〇・〇〇 食後の音楽 軽音楽 楽団ビオニ

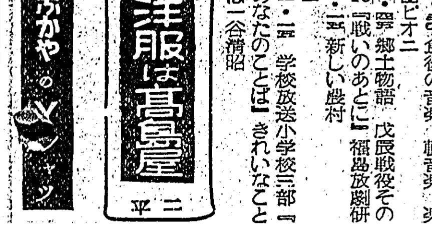
後六・四五 郷土物語 戊辰戦役その16『戦いのあとに』福島放劇研

後九・一五 新しい農村第一

前一一・一五 学校放送小学校三部『あなたのことば』きれいなことば 一谷消昭

ふかやのYシャツ

洋服は髙島屋 平 二


割烹
季節料理
小宴会・小会に最適!!!
新田町通り
電三八九

編直しのきく 色のさめない
5・3 ゴーサン
セーター と純毛毛糸
湯本 三久

皆様の利益を護る店

平の大黒屋本店
高級
純毛服地會
主婦の友・主婦と生活着尺
全国協定価格 反600円

平の大黒屋支店
純毛セビロ服地
純毛替ズボン
秋のネクタイの會
編直しのきく 5・3 ゴーサン セーターの會

湯本店・小名濱店
秋の純毛服地と
化繊服地の會
編直しのきく
5・3 ゴーサン セーターと毛糸

銘菓
平五萬石
本舗・株式会社 平製パン

打綿はハヤクきれいに
スズキ製綿店
平市新川町
工場 平市五月町四二

染物はナガオカ
平市南町 電六九四

整形外科
外科
内科
金成醫院
金成桂一
平市鎌田町一二 電話八二六番

信頼出來る商品
万年筆は専門店へ!!
岡萬年筆店
平市中央通 電三九九

外科
肛門科
上田醫院
平市南町（平局裏通）
電話 一二九番

日章 NISSHO
特約店

中 特賣
御婚禮家具一式
漆器 事務用家具
遠近に拘らず配達致します
和洋家具製造販売
あるが
平・銀座 電223